

平成19年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・いもち病（No.1）

平成19年6月20日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

5月31日～6月11日に行った定点巡回調査の結果、置き苗におけるいもち病の発生は認められなかった。

しかし、これらの補植用の置き苗はいもち病の発生源となるので、補植用置き苗の処分を徹底する。

今後、曇雨天が続くことが予想されるので、気象状況に注意し、ほ場の見回りを行っていもち病の早期発見に努める。

2 発生の状況等

(1) 6月11日現在、補植用置き苗の放置ほ場率は30.0%（平年：34.4%）で、置き苗におけるいもち病の発生はみられなかった（表1）。

(2) プラストムによる葉いもちの感染好適日、準感染好適日は、6月9日以降、広域で出現しており（表2）、今後の発生に注意が必要である。

表1 定点巡回調査結果(平成19年6月上旬)

	置き苗 放置ほ場率(%)	置き苗 発病率(%)
東部	33.1	0
中部	30.8	0
西部	26.6	0
県平均	30.0	0

表2 プラストムによる感染好適日の出現状況

日付	鳥取	岩井	青谷	智頭	倉吉	米子	下市	境	茶屋
6/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 感染好適日、準感染好適日

3 防除上注意すべき事項

(1) 補植用置き苗は、本田におけるいもち病の感染源となるので、早急に処分する。

(2) 本田において上位葉に急性病斑がみられる場合には、粉剤、液剤等を散布し、その後は病勢に応じ追加防除を行う。

(3) 山間部等のいもち病の常発地では、粒剤の育苗箱施用を行っていても十分な効果が得られない場合があるため、ほ場の見回りを特に徹底し、早期発見に努める。